

問1	地殻熱流量の分布と地球内部の熱源に関する記述として、最も適当なものはどれか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 地殻熱流量は地温勾配が小さいほど大きくなる。	2. 地球内部の熱源には、放射性同位体の自然崩壊による崩壊熱が含まれる。	3. 海溝付近はプレートが上昇する場所であるため、中央海嶺よりも地殻熱流量が大きい。	4. 大陸の盾状地は、中央海嶺よりも地殻熱流量が著しく大きい。
問2	波長が水深に比べて十分に小さい波が伝播する際、その伝播速度や性質に関する記述として最も適切なものはどれか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 海底との摩擦によってエネルギーが急激に失われる。	2. 波長が水深よりも長くなるように変化しながら進む。	3. 水深が浅くなるほど伝播速度が著しく低下する。	4. 水深の変化による伝播速度への影響は極めて小さい。
問3	砕屑岩が他の堆積岩と区別される成因上の特徴として、最も適切なものはどれか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 火山活動によって放出された火山砕屑物が堆積して形成される。	2. 既存の岩石が風化・侵食されてできた破片が堆積・固結して形成される。	3. 生物の遺骸や化学的な沈殿作用によって形成される。	4. 海水などの蒸発によって溶存物質が結晶化して形成される。
問4	地質図において、南北に走る断層の東側で地層の分布が押し上げられたような配置を示している場合、この断層の性質として最も適切なものはどれか。（2005年 全国公立入試 類似）			
	1. 右横ずれ断層	2. 左横ずれ断層	3. 正断層	4. 逆断層
問5	地球の公転運動が直接的な原因となって生じる現象として、最も不適切なものを次の中から一つ選べ。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. フーコーの振り子の振動面の回転	2. 恒星の年周視差	3. 火星の逆行運動	4. 恒星の年周光行差
問6	地球の地表温度を高く保つ温室効果のメカニズムに関する記述として最も適当なものはどれか。（2005年 全国公立入試 類似）			
	1. 大気中の水蒸気や二酸化炭素が、地表から放出される赤外線を吸収し、再び地表へ放射することで温度を上昇させる。	2. 大気中の酸素や窒素が、地表から放出される可視光線を吸収し、地表へ再放射することで温度を上昇させる。	3. 大気が太陽からの紫外線を吸収し、その熱エネルギーを地表へ再放射することで温度を上昇させる。	4. 太陽からの放射エネルギーが地表で反射され、大気中の窒素分子に衝突して熱エネルギーに変換されることで温度を上昇させる。
問7	地層が水平方向からの圧縮力を受けて波状に曲げられた構造を何と呼ぶか。また、その構造のうち、中心部が盛り上がっているものを特に何と呼ぶか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 褶曲と背斜	2. 断層と背斜	3. 断層と向斜	4. 褶曲と向斜
問8	ある調査地域において、地質図上の等高線間隔と地層境界線の分布から幾何学的な解析を行った結果、地層の傾斜角として算出される値として最も妥当なものはどれか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 15度	2. 45度	3. 5度	4. 85度
問9	地殻変動によって生じる断層のうち、断層面を境にして上盤側が下盤側に対して相対的にせり上がるように動く断層を何と呼ぶか。（2005年 全国公立入試 類似）			
	1. 左横ずれ断層	2. 逆断層	3. 右横ずれ断層	4. 正断層
問10	ジオイドに関する記述として最も適切なものはどれか。（2005年 全国公立入試 類似）			
	1. ジオイドは平均海面とほぼ一致する重力ポテンシャルが等しい面である	2. ジオイドは海洋底の地形をそのまま反映した物理的な地殻表面である	3. ジオイドは地殻とマントルの境界であるモホロビッチ不連続面を指す	4. ジオイドは地球内部の密度が均一であると仮定した地球楕円体表面と一致する
問11	地層から産出する化石の種類に基づいて地質年代を決定する際、示準化石として用いられる生物とその生存期間に関する記述として最も適当なものはどれか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 化石を用いた年代決定において、デスモスチルスとヌンリテスは白亜紀の地層を特定するために用いられる。	2. デスモスチルスやヌンリテスは、主に第三紀の地層から産出する示準化石である。	3. デスモスチルスはジュラ紀以前の地層から産出する示準化石であり、古生代の環境を示す。	4. ヌンリテスは第四紀の地層から産出する示準化石であり、現代の海洋環境と密接に関係する。
問12	ある調査地域において、地層境界線が北西から南東方向に伸びていることが確認された。この地層の走向として正しいものはどれか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 北東から南西方向	2. 東から西方向	3. 南から北方向	4. 北西から南東方向
問13	マグマの結晶分化作用に関する記述として最も適切なものはどれか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 先に晶出する鉱物は、マグマ全体の組成よりもマグネシウムに富む傾向がある	2. マグマから鉱物が分離されることは、マグマの進化には影響を与えない	3. 結晶分化作用が進行しても、マグマのシリカ含有量は変化しない	4. 結晶分化作用により、流紋岩質マグマから玄武岩質マグマへと変化する
問14	地層の重なりにおいて、下位の地層が傾斜した状態で削剥され、その上に上位の地層が堆積している関係を何と呼ぶか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 平行不整合	2. 断層関係	3. 整合	4. 傾斜不整合
問15	北半球の中緯度地域における大気循環の特徴として、最も適切なものはどれか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 年間を通じて西から東へ向かう偏西風が卓越している。	2. 年間を通じて東から西へ向かう偏西風が卓越している。	3. 赤道付近から極地に向かって常に北風が卓越している。	4. 夏から冬にかけて風向が逆転する季節風のみが卓越している。